

ひろげる つなぐ かえる

2014

4

2014年3月25日発行
通巻184号



P1-2 熱中手帖。

-これまで×これから- Vol.21

特定非営利活動法人MCサポートセンター

理事長 松岡 典子、事務局長 山下 さをり

P3-4 三重ぐるり～みえの市民活動～

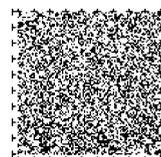
今月のテーマ：子どもに関わる団体

P5 募集のご案内、助成金情報

P6 クローズアップ協創のヒント集、活動のぞき見隊

P7 マイNPO物語、NPO・ボランティア私の一冊 ほか

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。





熱中手帖。
-これまで×これから- vol.21

多職種の専門家が集まった 子育て支援団体

特定非営利活動法人MC^{*}サポートセンター

理事長 松岡 典子 (右)
事務局長 山下 さをり (左)

子育ての大変さを体験し、 始めた子育て支援活動！ 設立経緯を教えてください

2000年頃地域では、「子育て支援」という言葉を聞くことが少ない時代でした。私はそれ以前産婦人科で助産師として働いており、妊娠・出産から退院に関わる仕事をしていました。それはとても満足度が高く、やりがいのある仕事だったのですが、当時の私は、自分の出産で子育てを体感するまで、退院後の子育てがこれほどまでにお母さんたちに負担がかかり大変なものなのかということ、情けないことに知りませんでした。つまりその大変さを知ったのです。その頃、私が助産師だったことを知っていた周りのママ友達が、さまざまなことを相談にみえることもあったため「何か子育てについてお手伝いできることがあるのでは」と思いました。

そこで看護師・助産師や保健師などの資格をもっている友人たちと子育て支援をやりようと思いました。そして管理栄養士、カウンセラー、看護師、医師、保育士、助産師・保健師など子育て支援の団体をつくったのです。当初これらの多職種での子育て支援団体は全国でも珍しいと言われました。今となっては結構先進的だったんだなあと思います。お母さんたちの悩みというのは、心の状況、体の状況、子どもの栄養面、保育に関することなど、ありとあらゆる状況によって変化します。結果としてですが、メンバーが多職種であることで、子育てのさまざまな助言や支援に有効的に対応できていると思っています。

*MC : Mother & Child お母さんをサポートすることで子どもたちの心身の健康につながるという思いから

お母さんたちと向き合うことで、 いろんなニーズが見えてくる たくさんの活動をされていますが、 活動内容は？

活動は私たちが考えていた以上に多様化してしまいました（笑）。当初は助産師が多かったので、産後の支援を主な活動と考えていましたが、その後、虐待のことにも関わるようになりました。育児困難の一番重篤なものが虐待の問題と言われています。電話相談を受けていると、虐待は身近にあるものと感じます。私たちも子育てでいっぱいになった経験があるので、誰しも可能性があることも知りました。

お母さんたちは育児のしんどさから子どもを怒鳴ったり、叩いたりしてしまうことがあります。しかし適切なサポートをすることで虐待することから脱却できるということも経験しました。ただ私たちだけの力で適切な支援を行うことには限界がありました。そこで必然的に行政機関や他の機関とつながる必要があると考えました。私たちは虐待による死亡事例に関わった経験から県内5カ所の児童相談所と協定書を結ぶことにもなりました。

また、虐待問題に関わったことから、私たちは相談されるのを待っているだけでいいのか？と疑問を持ち始め、スーパーへ出張型の子育て相談を開催させてほしいと頼みにいき、実践しています。この出張型の子育て相談は10年続けています。深刻な虐待問題

に悩まされながらも、どこからも支援を受けておらず、行政機関に行くこともためらわれている方でも、スーパーなら行ってみようかと来てくれます。



スーパーでの出張無料子育て相談

このスーパーへの出張型相談会であったり、日常の電話相談であったり、桑名であれば2カ所の子育て支援センターで行っている相談会などを合わせると、子育てで困っている人・悩んでいる人とどこかで繋がることができるのかなと思います。このように、現在では、私たちが持つ自前のネットワークを活用して、お母さんたちを支援し、また、行政等の他の機関につなげていくようなコーディネーター的な役割も担っております。最初からこれをやろうと考えていたわけではなく、その都度、お母さんたちと向き合うことでいろんな事例がみえてきて、その中で必要なものに手を出してきた感じですね。

さらに活動を続けていくうちに、お母さんたちに健全な出産や子育てをしてもらうためには、大人になってからではなく思春期からちゃんと伝えていく必要があるのではないかと考えるようになり、子どもたちを対象に命や性に関する講座を開くようになりました。

命と性の講座に関しては、学校の養護の先生たちのニーズに応える形で開催してきました。性のことについてはきちんと教えていくことが大切なんです。子どもたちの周りには性に関する情報がたくさんあり、自分の気持ちを埋めるためにそういう行為に関心を持つこともあります。思春期でそういう欲求が強いことも、それは健康だからこそ欲求があるのであって、大切なのはどのようにコントロールしていくのかということをお伝えすることだと思います。

そこに大人たちは向き合っていないといけない

と考えます。思春期特有のホルモンバランスと自分の気持ちとのアンバランスを抱えながら混乱するのが思春期であり、それが個人差はあっても当たり前なことだということも教えないといけません。また、体のことだけでなく心についても伝えておくことで、激しい感情を持ったときにどのように折り合いをつけるのかがわかるのです。

またインターネットがあるのが当たり前になってきたこの時代では、スマートフォンの流行により指一本で、世界中のありとあらゆる情報を閲覧することができます。そんな中で、子どもたちは、歪曲された、あるいは正しくない情報を得たり、不安になったり、欲求を抑制できなくなったりすることもあります。インターネットに関する危険性なども、時代に合わせて子どもたちの気持ちに寄り添って伝えていかなければいけないと考えます。



性の健康教育出張講座

専門的な知識を、 時代に合わせて活用していきたい 将来展望について、どうお考えですか？

私たちができる範囲内で、できる限りのことを無理のない形でやっていきたいと思っています。時代の流れの中で、ニーズがあり、手薄になっているところに時間をかけていこうと思います。いまは、特に「乳幼児揺さぶられ症候群^{*}」の問題に力を入れています。私たちのメンバー28名のうち、26名が有資格者です。専門的な知識を、時代に合わせて地域の家族のために活用できる範囲で活用していく。それを実践していきたいと考えています。

*乳幼児揺さぶられ症候群：概ね生後6カ月以内の新生児や乳児の体を過度に揺することで発生する内出血などの外傷。(出典：ウィキペディア)

DATA

特定非営利活動法人MCサポートセンター(愛称:みっくみえ)

事務局住所 〒511-0851
三重県桑名市大字西別所302番地
T e l 0594-21-4935
F a x 0594-22-9835
E - m a i l fcmatsu@lily.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~mcs/>
代 表 者 理事長 松岡 典子
団体設立年月日 平成12(2000)年1月6日
会 員 数 28名
会 費 7,000円(正会員)

※子育て相談は電話で、お問い合わせ等はFaxまたはE-mailをお願いします。



三重県内で魅力ある活動を行っている市民活動・ボランティア団体等を県内各地域の市民活動（支援）センター等の協力を得て、ご紹介します。

今月号でご紹介するのは、地域の未来を担う“子ども”に関わる団体です。子ども自身の直接的な成長の場、文化や教育を通じた創造の場、条例など政策に関すること、親子で集える場、親たちのネットワーク形成や支援、おもちゃなどの物に関する支援など多種多様な活動があります。子どもに関わる団体は・・・？

今月のテーマ 子どもに関わる団体

北勢
地域

子ども応援ネットワーク in くわな

情報提供：特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター

子どもに関わる人たちがつながり、途切れることのない支援、応援ができる地域をつくりたいと思っています。「その子にとっての最善」を提供できる社会でありたいと思うからです。関係団体等に呼び掛けながら会議を重ね、子どもが課題を抱えた時に、子ども自身が課題の解決を行う手だてが一目でわかる、子どもの年齢に合わせた「子ども応援マップ」を作成し、配布しました。子どもたちが自ら持っている力を発揮し、希望を持って社会で生きていけるよう、さまざまな立場の人たちで考えあい、子どもを支援するネットワークを構築していきます。

子ども応援マップです。



ひとこと PR!

子どもを支援するネットワークをつくりまします。

✉ pm-kuro@zm.commufta.jp

北勢
地域

特定非営利活動法人 ドッグイヤー

情報提供：四日市市なやプラザ

この法人は、ハイテク環境問題やコンピューター社会における情報格差の問題、行政との協働、高齢者・障害者の就労支援、社会福祉に係る事業、青少年を取り巻く問題に関する事業を行い、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とします。今回、フィリピンの大型台風で教会がたくさん破壊されたため、再建させる義援金の募金を行いました。こどもたちが自分のお小遣いを募金箱に入れてくださいました。

こどもが作った義援金箱
これを現地の NPO に送りました。



ひとこと PR!

本当にたくさんの義援金が集まりフィリピンの NPO にわたしました。

三重県四日市市諏訪栄町17番4号

☎ 059-359-3225

北勢
地域

トイなおす（おもちゃ病院）

情報提供：鈴鹿 NPO サポートセンター

私たちは「おもちゃ病院」を通じて子どもたちに物を長く大切に使うという心を育てていくとともに、ごみ減量化を図ることができればと考えています。「トイなおす」に所属するおもちゃドクターによって、子どもさんの大切なおもちゃを修理しています。また、おもちゃの修理は原則として無料で行っています。「おもちゃ病院」の開設は、鈴鹿市の図書館にて3カ月に1回実施しており、詳しい内容は「広報すずか」でお知らせしています。動かなくなってしまったことで捨てられたのではおもちゃが可哀相です。少し修理すれば元に戻って動くかも知れません。おもちゃを持って是非お気軽に訪ねてきてください。

トイなおすのおもちゃドクター



ひとこと PR!

おもちゃの修理を通して物を大切にする心を「問い直す」!! たくさんのドクターが皆さんをお待ちしています。

☎ 059-382-7609

伊賀
地域

つながる食を考える会 「こどもとごはん」

情報提供：特定非営利活動法人 なばり NPO センター

名張市在住の母たちで作った、食や子育てを考えたり、話したり、行動したり、のサークルです。「名張市子育てサークル連絡協議会」にも加入しています。「食」の大切さを思う人々がつながり、それを周囲につなげていくことを目的として、小さい子のお母さんから高校生のお母さんまで「食」に関心のある幅広いメンバーが集まっています。月2回の活動のうち、1回は学習会や談話会で情報の共有や交換をし、もう1回は調理や農作業といった実習をしています。子連れでも可能な範囲での内容で楽しく活動しています。

おいしーい!



ひとこと PR!

子どもだけでなく、「食」はいくつになっても大切です。子どもの年齢に関係なく、遊びにきてください♪

☎ 0595-67-0250

(こども支援センター かがやき内)

中勢 地域

大門いこにこ広場

情報提供：津市市民活動センター

未就学のお子様と保護者のためのあそびの広場です。週に1回コーディネーターの先生による無料のあそびのじかんや、パパ・ママの為の講座、季節のイベントなど開催しています。飲食スペースがあり、ランチやおやつを召し上がっていただけます。お弁当やおやつをケータリング（出前をとること）もできます。ママたちの声がたくさんつまった大門いこにこ広場にぜひ遊びに来てください。



あそびのじかんの様子です。ステージにあがってダンスをするお友だちもいます。

ひとこと PR!

いこにこ とは・・・
大門に 行こに みんなで
にこにこ 楽しい広場

☎ & FAX 059-273-6536

中勢 地域

劇団ミュージカルBeOne

情報提供：松阪市市民活動センター

ミュージカルを通して、芸術活動の場を広げていくと共に子どもたちの心の成長を支えていくことを目的に活動しています。現在の団員は、松阪市近郊在住の小学校3年生から高校1年生までの24名。毎年、夏休みに脚本・曲・ダンスもオリジナルの舞台を無料で上演しています。毎週のレッスンでは、演技・歌・ダンス・それぞれにプロの講師から指導を受けがばっています。また劇で使用する大道具・小道具・衣装は保護者の協力のもと、すべてが手作りです。みんな初心者ですが劇を創る過程では、他のメンバーと力を合わせることで、感謝の心を忘れずに取り組むこと、そして“楽しむこと”を大切にしています。



第8回公演「星降るほどの夜空のもとで」より

ひとこと PR!

次回公演予定：平成26年8月16日(土) 17日(日) 農業屋コミュニティ文化ホールにて「第9回公演 稲古場の神様」入場無料 ぜひ観に来てください!

☎ 0598-21-8300
(代表・岩坂由華さん)

南勢 地域

ガールスカウト三重県第1団

情報提供：いせ市民活動センター

ガールスカウト三重県第1団は、伊勢神宮のスカウトとして、基本訓練にテントの設営や火を熾すところから始めるクッキングなどの野外活動、募金活動や老人ホーム慰問などのボランティア、ハイキングやクラフト作りなどの活動の他に、神宮に奉納する稲の田植え・稲刈りや外宮での初詣参拝客への昆布茶接待など、神宮への奉仕活動も行っています。幼稚園・保育園年長から高校3年までのスカウトと、スカウト活動を支える成人会員が、毎回楽しく仲良く元気に活動しています。



伊勢まつりでのブース出展と募金活動

ひとこと PR!

時には県内外での大会等に参加します。昨年夏には中高生スカウトが台湾でのキャンプに参加しました。

☎ 090-6768-2529
(広報担当 高倉)

南勢 地域

しま子育て応援団

情報提供：志摩市民活動通信 sanpo

自分たちが生活し、子育てしている中で、大切だと思うことを市民のみなさんと一緒に学ぶべく、講演会やイベントなどの企画運営を行っています。一人ひとりの心が繋がって、大人も子どももすべての人が「生まれてよかった」と思えるような地域づくりのお手伝いができればいいな♪と思いながら、活動しています。ブログ「しま子育て応援団の日常」より

志摩市市民活動支援センターでミーティング



ひとこと PR!

「いのちの授業&おとなのオープンカフェ」3月30日、阿児アリーナにて開催します♪

<http://blogs.yahoo.co.jp/tamaday828>
ブログ「しま子育て応援団の日常」

東紀州 地域

NPO 法人子どもステーションくまの

情報提供：東紀州コミュニティデザイン

本団体は、すべての子どもたちが自信と誇りを持って自ら考え、責任を持って主体的に行動できる様、ネットワークを広げ地域を巻き込んだ諸活動を通して、子どもの権利条約を基本とした子どもの育ちを推進し、子どもと大人が共に育ち合える生きやすい地域社会を築いていく事を目指しています。乳幼児と親たちの集いの場やベビーマッサージ、絵本の読み語り、学童保育事業、子育て支援保育サポート事業として子どもの一時預かり、世代間・地域間交流としてソーラン踊りの会、チャイルドライン等、子どもや地域に関わる活動を行っています。



これは学童保育の写真です♪

ひとこと PR!

子どもに関わる沢山の事業を展開しています。この地域で一緒に子育てしませんか?

☎ 0597-89-5633

お詫びと訂正

2014年3月号の「三重ぐるり」の内容に一部誤りがございました。

皆様には、大変ご迷惑をおかけ致しましたことを、深くお詫び申し上げますと共に、以下の通り訂正させていただきます。

4 ページ 三重ぐるり 中勢地域の団体名

(誤) 名松線に乗って、新たな発見!

(正) 名松線を元気にする会

5月号のテーマは

保健・医療・福祉に関わる団体

です。

募集とご案内

宮川流域エコミュージアム

参加者募集 ～一緒に花ももを植樹しませんか～

伊勢を白、ピンク、赤の花が咲く花ももでいっぱいにし、元気なまちにしていきたいと、県営サンアリーナー帯に1000本の植樹をしてきました。新たに3000本に向かって植樹し、西日本一の花ももの里をつくります。

日時 4月13日(日) 9:00(集合)～11:00
※雨天延期日:4月20日(日)

場所 県営サンアリーナ 花の広場(伊勢市朝熊町鴨谷4383-4)

対象 中学生以上 ※小学生以下は保護者同伴

参加費 無料 ※申込み不要、当日現地集合

持ち物 長ぐつ、タオル、軍手、帽子、飲み物

問合せ先 朝熊山麓に花を咲かす会

Tel & Fax 0596-24-1790(岩崎)

HP <http://www.miyarune.jp/eco/new/news/news201404.html>

チェルノブイリ 28 周年企画

チェルノブイリ・福島～いのちは宝

4歳のときチェルノブイリ事故により被曝し、14歳で甲状腺がんの手術。その後、不安の中で出産したシネオカヤ・インナさんが来日し、「汚染の大地チェルノブイリーそれでも私たちは生きる」と題してお話しします。他に、小室等さん親子、内田ボブさんらのライブ、高校生の朗読劇、大学生の展示など盛り沢山。みなさん、是非ご来場ください。

日時 4月26日(土) 13:30～16:00

場所 津リージョンプラザ お城ホール

参加費 一般 前売り 1,500円(当日 2,000円)、
中・高・大学生 500円

※小学生以下と原発震災による避難者は無料

問合せ先 みえ426の会

Tel&Fax 059-229-3078 Tel 090-1239-1410(宮西)

メール dotoskanpo@yahoo.co.jp

協力 チェルノブイリ子ども基金

「ほっとスマイル四日市」3周年記念イベント

第1回「ほっとスマイル四日市」ふれあいフェスタ

第1部 精神障がい者当事者による体験発表

第2部 講演会 講師: 下方 宏明氏 精神保健福祉士

日時 5月11日(日) 13:30～15:30

場所 四日市市勤労者・市民交流センター東館大会議室(3階)

対象 「健常者」、精神障がい当事者・その家族・支援者

定員 90名 ※参加費無料、先着順

問合せ先 障害者相談支援センターソシオ

Tel 059-345-9016(ソシオ直通)

2014年度 第2回 原発シンポジウム

福島で生きるということ

原発稼働ゼロの今、なによりも福島の現実を見つめよう! 今から50年前の1964年、東京電力は「福島に原発を建設する」と発表しました。福島はなぜ原発を受け入れたのか。原発は福島になにをもたらしてきたのか。そして今、福島第一原発の事故による放射能汚染の中、福島の人々はどのような生活を余儀なくされているのか。

日時 4月19日(土) 13:30～16:00

場所 じばさん三重 2階研修室6(近鉄四日市駅から徒歩5分)

参加費 無料 ※申込み不要

主催 脱原発四日市市民の集い 代表: 熊沢 誠
シンポジウム実行委員会 大野 章・大野つた子・園田 淳

問合せ先 シンポジウム実行委員会 Tel 090-1414-4450(大野)

メール golondrina643@yahoo.co.jp

HP <http://blog.goo.ne.jp/tanutanu9887>

～誰でもできる、笑い深呼吸の健康法～

ラフター(笑い)ヨガ体験会

「ラフターヨガ」は、インドの医師 マダン・カタリア氏が病気の予防のために作った笑いのエクササイズです。

日時 4月26日(土) 10:00～11:30

場所 みえ県民交流センター イベント情報コーナー(アスト津3階)

参加費 500円 ※未成年者は無料

持ち物 水分補給用の飲み物、動きやすい服装

問合せ先 三重ラフター(笑い)ヨガクラブ

Tel & Fax 059-230-4077(加藤)

メール terurinclub@yahoo.co.jp

HP <http://ameblo.jp/terurin-egao/>

学びあいの会

日本語教室ボランティア募集

国際交流といえば、まず英語が話せなくてはと難しく考えないでください。普段着のままお気軽にご参加ください。

日時 毎週 金曜日 10:00～12:00

場所 みえ県民交流センター 交流スペース

活動内容 ・日本語を第一言語としない人々が日本語を習得するのを支援

・授業は原則としてマンツーマン方式で日本語で行う

・勉強以外に日本の自然、文化、習慣を紹介する(正月、七夕パーティー、花見、紅葉狩りなど)

問合せ先 学びあいの会

Tel 090-6766-5163(服部) 090-5034-2904(鈴木)

助成金情報

助成金情報は、弊センターホームページでも多数ご紹介しております。

HP <http://www.mienpo.net/center/>

- ・モバイル・コミュニケーション・ファンド(MCF) 2014年度ドコモ 市民活動団体への助成(分野:子ども、環境保全) 4月21日(月) 必着
- ・福祉医療機構(WAM) 平成26年度社会福祉振興助成 4月30日(水) 必着
- ・生命保険協会 「子育て家庭支援団体に対する助成活動」募集 4月30日(水) 当日消印有効
- ・国際交流基金 地域リーダー・若者交流助成 5月1日(木) 18:00 必着
- ・企業メセナ協議会「GBFund」 東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド第10回募集 5月2日(金) 当日消印有効

クローズアップ

協創のヒント集

県民が力を合わせることによって、地域社会で「今までできなかったことができるようになる」ために大切なヒントを毎月ご紹介いたします。

ヒント10 情報で支援する

【ヒント10】

自治会をはじめとする地縁団体は、長い伝統があるため人々によく知られていますが、NPOは新しい団体であり、認知度は全体としてあまり高くありません。市民、地縁団体、企業、行政から、どんなNPOがあるのかわからないため、どう協働すればいいかわからないという声もきかれます。一般に市民活動団体は活動のPRが得意ではなく、ニュースレター等の紙媒体やホームページやブログなどを活用して、もっと積極的に自らの活動を広報する努力が必要です。このため、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス：フェイスブック、ツイッターなど）等の新しい手法も含め、多様な情報発信に取り組むための支援を行う必要があります。

また、市民活動センター等の市民活動団体のポータルサイトの整備や活用、ケーブルテレビやエフエムラジオなど、地域メディアと連携した市民活動団体の情報発信の場づくりに取り組むことが効果的です。

【ヒント10の事例】

- ① コラボで実現した圧倒的な情報発信「ゲンキ3（さん） ネット」（津市） **実施主体** 特定非営利活動法人サルシカ（NPO）
- ② 人と人が出会うことで生まれるコト「ZENCAFE」（津市） **実施主体** 特定非営利活動法人パフォーミングアーツネットワークみえ（NPO）
津あけぼの座・津あけぼの座スクエア
- ③ 市民による市民のための映像ポータルサイト「よっかいち映像広場」（四日市市） **実施主体** メディアネット四日市（NPO）
- ④ 市民のメディアで市民が発信「きらきら☆らじお」（桑名市） **実施主体** 特定非営利活動法人みえきた市民活動センター（NPO）

引用：「夢をかたちにするまちづくり～「新しい公共」のヒント集～」（三重県・新しい公共円卓会議／2013年3月発行）

活動のぞき見際 Vol.9

NPOの活動、団体のサポートなどのNPOに関わりのある活動ってどんなことをしているのでしょうか？その活動現場で活躍するスタッフのある日の一日を紹介します。

今回は、39歳までの無業の状態にある方の就業に向けた支援を行っている「公益財団法人三重県労働福祉協会 若者就業サポートステーション・みえ」の総括コーディネーターである中川真理子さんに密着しました。カウンセリングを中心に、知識や気づきを得るためのセミナー、働く上では欠かせない基礎体力をつける講座、パソコンに対する苦手意識を克服し基礎技術を身につける講座などの開催を行っています。ボランティア体験や就労体験などさまざまな体験の中で自身の強みや弱みを知っていただく取り組みも行っていきます。

HP <http://www.mie-kinfukukyo.or.jp/sapostemie/>
連絡先 059-271-9333

公益財団法人 三重県労働福祉協会
若者就業サポートステーション・みえ

総括コーディネーター 中川 真理子さん

三重県津市出身、津市在住。大学で心理学を専攻。中学校の「心の教室」の相談員、青少年補導センター（現：青少年センター）、おしごと広場みえキャリアカウンセラーを経て現職。個人が本来持っている“育つ力・できる芽”を支援するため、さまざまな取り組みを行う。



9:00 事務作業、相談記録の記入など



事務作業、メールチェック、記録の作成などを行います。

ミーティング



毎週水曜日の午前中はスタッフでミーティングを行います。

セミナーなどの開催



「働く」に向けた基礎知識、コミュニケーションスキル、経験や気づきを得るための講座などを開催します。

13:30 相談業務



各相談員が就業に関する相談に対応。出張相談も行っています。

出勤 開所準備	開所 相談記録の記入	毎週水曜日はオンラインで関係機関との連絡	休憩	相談は 13:30 14:30 15:30 16:30 の4枠で 各相談員が対応 月2回、松阪、亀山、鈴鹿でも出張相談を行っている	業務終了、閉所
8:30	9:00		12:00	13:30	18:00

【情報を提供していただく皆様へ】

掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。

- (1) フォーマットに必要事項を入力の上、毎月10日までにお願いします。
- (2) E-mailは件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ 原稿用 フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net Fax 059-222-5971

みえぎんNPOローン 好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高1,000万円まで無担保でご融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL.059-354-7130（審査部）まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>





フェアトレードコーナー抱 **石井りかさん** (鈴鹿市在住)

プロフィール

鈴鹿市生まれ。E S D in三重代表。高田短期大学人間介護福祉学科を2014年3月卒業。



1990年代、新聞やニュースでフェアトレードのことを知りました。その頃、鈴鹿市国際交流協会のフェアトレードの勉強会に参加したことでさらに関心が高まり、その時の講師が名古屋でフェアトレードの活動をしている方だったので、その後は名古屋で学びました。当時、三重県内で活動をしている団体が少なく、その講師に勧められたこともあり、2001年に「フェアトレードコーナー抱」を立ち上げました。知り合いがいたこともあり、「NPO法人市民ネットワークすずかのぶどう」の一角で商品紹介コーナーを常設してもらうことになりました。いま活動を振り返ると、周りの人に助けられて自然に道ができたという感じです。アスト津でも月1回「フェアトレードカフェ」を開催して、フェアトレードのコーヒーを淹れたり、商品を並べて販売したりしています。青年海外協力隊 OG・OBの方々、多文化共生に関わる人たちが手伝いに来てくれたりもするんですよ。本当にありがたいです。また多文化共生イベントにも活動報告やPRを兼ねて出展することもあります。市民活動団体等から依頼があれば、集まりやイベントなどでコーヒーを淹れて飲んでもらっています。

最近、私が始めた頃と違って大手のスーパーマーケットなどが参入しています。広まるという点では良いと思います。私はこれからもみなさまに助けをもらいながら、この活動を続けていきたいと思っています。

NPO・ボランティア **私の一冊**

みえ県民交流センターの図書・資料コーナー等から、スタッフがおすすめするNPOやボランティアに関するさまざまな書籍類をご紹介します。



思いやりを力に変えるために
～阪神・淡路大震災で集まった「ボランティア一年生」のための講座～
(株)ブロンズ新社
山内 美郷 監修
2000年8月25日

この本は、1995年の阪神・淡路大震災の被災者へのケア・ボランティア活動を紹介した書籍であり、そのときのボランティア活動はどのように行われたのかを知りたくて、手に取りました。

支援者は被災者の立場に立って考え、物事をポジティブに見ることが一番必要であるということが書かれています。また本書は、震災で大きな心の傷を受けた人同士の絆、信頼感を取り戻すためのボランティアの必要性と大切さを訴えています。私たちは日々の生活を当たり前で過ごしていますが、いつどんなときに被災者や被災者を支援する立場になるかわかりません。相手の立場に立って寄り添い、耳を傾けることが心のつながりになり、とても大事なことだと教えてくれる一冊になると思います。(三宅)

認証した特定非営利活動法人
(2014年2月10日～2014年3月9日認証分)

①法人名 ②主たる事務所の所在地 ③活動分野 ④認証年月日 ⑤代表者

①特定非営利活動法人 三重ローカルアクト	①特定非営利活動法人 気づきネットワーク
②津市白塚町 3541 番地	②志摩市志摩町片田 2001 番地
③保健、まちづくり、災害、 人権、国際、子ども、職 業能力、その他	③保健、社会教育、まちづ くり、観光の振興、農山 漁村・中山間地域、学術、 環境、災害、地域安全、 人権、国際、男女、子ど も、情報化社会、科学 技術、経済活動、職業 能力、消費者、その他、 地域防災活動、障がい 者の自立と共生社会、多 文化共生社会
④2014年2月20日	④2014年3月3日
⑤理事長 西井 美恵	⑤理事長 南 泰宏

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえ NPO ネットワークセンター」に連絡してください。

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津 市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市市民活動センター/四日市大学 (亀山市)亀山市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (志摩市)阿児アリーナ/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/伊賀市立図書館/伊賀青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザイン (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会
【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JA/バンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(地域防災総合事務所(桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀) 地域活性化局(南勢志摩、紀北、紀南))/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連

東海ろうきん
健全・安心・貢献

環境にやさしい植物油インキを使用しています。